

家庭学習のすすめ

～すすんで学ぶ子どもを育てるために～



家庭も学びの場に

子どもたちの学力向上を図ることは、学校の重要な役割の一つです。同時に「すすんで学ぶ子ども」を育てるためには、家庭のかかわりがとても大切です。

学校（教師）と家庭（保護者）が互いに連携し合い、助け合いながら子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図りたいと考えています。

確かな学力を身につけるためには家庭学習が欠かせません。このパンフレット～「家庭学習のすすめ」～をきっかけに、家庭での学習について、更なるご支援とご理解をお願いいたします。

甲斐市立敷島南小学校

家庭学習による教育効果



はじめに

家庭学習とは、家庭でする学習のことで、宿題と自主学習があります。

- ①宿題………学校から出された課題
- ②自主学習…自分で学習したい課題を見つけ、その課題にそって自分一人で進めていく学習

〈留意点〉

小学校では宿題を欠かさずに継続して行う習慣を身につけることが大切です。自主学習は子どもの意欲や興味に応じて取り組むものと捉えてください。また、家庭学習時間のめやすは、宿題も含めて考えてください。

家庭学習によって、次のような教育的効果が期待できます。

(1) 学習内容の定着化

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

(2) 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。小学生のうちからどんどん脳を鍛えましょう。

(3) 学習の習慣化

毎日、一定時間、決まった場所で家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、あたりまえの習慣になり、子どもたちの「学ぶ力」を育てるという大きな力につながります。

(4) 忍耐力・根気・集中力の強化

家庭学習の最大の敵は、テレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、我慢強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて、学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、テレビをつけない、みんなで読書をするといった家族全員の協力が必要になります。

(5) 家族のふれあいを拡大

低学年のうちから「本を読んでいる時、横で聞いてあげてあげる。」「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてあげる。」など、学習をしている子どもに親が関わることによりコミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機会が増えることは、やがてくる思春期の子どもたちとの対応にも影響し、心身ともに健やかな子どもの育成につながります。

安心・集中して学べる環境づくり



子どもが集中して家庭学習に取り組むには、次の点に配慮することが大切です。

その1 生活のリズムを整えましょう！

- ①「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」など、規則正しい生活を送る。
- ②睡眠時間を十分にとらせ、食事もしっかりとらせる。
- ③テレビやゲームの時間などのきまりを作り、約束事を守る。

その2 学ぶ雰囲気をつくりましょう！

- ①学習の場所は静かで集中できるところで行う。（テレビはつけない。）
- ②学習時間を決めて行うようにする。（見通しをもつ。）
- ③身の回りの整理整頓をする。（机の上は学習に使うものだけ）
- ④学校で使う道具や持ち物の準備及び点検の習慣を身につける。
- ⑤読書の時間を決め、続けるようにする。

その3 子どもと、たくさん対話をしましょう！

- ①学校での様子を聞き、子どもが学校でがんばっていることや困っていることを理解する。
- ②新聞記事やニュースなどを話題にして、社会への関心を広げる。
- ③子どもの目標や夢に寄りそい、それを実現するための方法について必要に応じてアドバイスする。

その4 努力を認め、励ましましょう！

- ①「よくできたね。」「ていねいに書けたね。」「大きな声で読めたね。」など、子どものがんばりを認める言葉かけを行う。
- ②もの事をやり遂げるという成功体験を積ませることで、子どもに意欲と自信を持たせる。

1年生の家庭学習

何もかも知りたい、できるようになりたい気持ちでいっぱい
の時期です。家庭での学習は、家庭の手助けが全面的に必要です。
まず、学校の宿題がきちんとできるようにしましょう。

1年生で身につけたい力

- ① えんぴつを正しく持つことができる。
- ② 大きな声ではっきりと話すことができる。
- ③ ひらがな、かたかなの清音・濁音・半濁音・促音・撥音が読めて、書ける。
- ④ 助詞（て、に、を、は）を適切に使い分けて文章が書ける。
- ⑤ 80字の新出漢字の読み書きができる。
- ⑥ たし算・ひき算ができる。
- ⑦ 時計が読める。

家庭学習時間のめやす

$$10 \text{ 分} \times \text{学年} + 10 \text{ 分} \\ = 20 \text{ 分}$$

こんなことをしてみましょう!

< こくご >

- ① こくごのきょうかしょを、大きなこえでよみましょう。
- ② こくごのきょうかしょを、ノートにていねいにかきうつしましょう。
- ③ おてほんをみながら、かきじゅんにきをつけて、ひらがな・かたかな・かんじをかきましょう。

< さんすう >

- ① たしざん・ひきざんのけいさんれんしゅうをしましょう。
- ② ぶんしょうもんだいづくりをしましょう。
- ③ とけいのもんだいをやってみましょう。
- ④ ながさのもんだいをやってみましょう。

< どくしょ >

- ① おうちのひとに、ほんをよんでもらいましょう。
- ② すきなえほんをよんでみましょう。

2年生の家庭学習

「やったね」「よくできたね」のほめ言葉がやる気につながります。家での学習は、家族の手助けがもう少し必要です。学校の宿題を忘れずにできるようにしましょう。

2年生で身につけたい力

- ①教科書がすらすら読める。
- ②順序よく話をしたり、書いたりできる。
- ③160字の新出漢字の読み書きができる。
- ④たし算・ひき算の筆算ができる。
- ⑤九九がすらすら言える。
- ⑥長さや水のかさがわかる。

家庭学習時間のめやす

$$10 \text{ 分} \times \text{学年} + 10 \text{ 分} \\ = 30 \text{ 分}$$

こんなことをしてみましよう!

〈 こくご 〉

- ①こくごのきょうかしょを、大きな声で読みましよう。
- ②こくごのきょうかしょの文しょうを、ノートにていねいに書きうつしましよう。
- ③かん字をくりかえしれんしゅうして、おぼえましよう。
- ④お手本をよく見て、書きじゅんに気をつけて、書きましよう。
- ⑤「とめる」「はねる」「はらう」に気をつけて、書きましよう。

〈 さんすう 〉

- ①たしざん・ひきざんのけいさんれんしゅうをしましよう。
- ②ぶんしょうもんだいづくりをしましよう。
- ③とけいのもんだいをやってみましよう。
- ④ながさのもんだいをやってみましよう。

〈 どくしょ 〉

- ①すきな本をよんでみましよう。
- ②じかんをきめて本をよんでみましよう。

3年生の家庭学習

理科，社会，総合的な時間が始まり，戸惑いを持つ子が出てきます。自信を持たせたり，意欲を持たせたりするような励ましが大切です。学校の宿題は継続して行えるようにしましょう。

3年生で身につけたい力

- ①国語辞典を使って言葉を調べられる。
- ②筋道を立ててわかりやすく話したり，書いたりできる。
- ③200字の新出漢字の読み書きができる。
- ④ローマ字の読み書きができる。
- ⑤わり算や簡単な小数や分数のたし算やひき算ができる。
- ⑥はかりを使って重さが読める。

家庭学習時間のめやす

$$10 \text{ 分} \times \text{学年} + 10 \text{ 分} \\ = 40 \text{ 分}$$

こんなことをしてみましょう！

〈 国語 〉

- ①音読，漢字練習，視写は国語の基本です。こつこつとやってみましょう。
- ②国語辞典をどんどん使って，言葉の意味を調べましょう。
- ③はじめて習うローマ字の練習をしてみましょう。
- ④1日のできごとや思ったことを日記として書いてみましょう。
- ⑤詩・ことわざ・俳句などを暗唱してみましょう。

〈 算数 〉

- ①計算練習や文章問題をやりましょう。
- ②自作問題をやりましょう。
- ③単位のかん算（時間・長さ・重さ・かさ）の問題をやりましょう。
- ④コンパス・三角定規・ものさしを使った問題をやりましょう。

〈 社会 〉

- ①甲斐市や敷島地区のことを調べましょう。
- ②地図記号を覚えて，地図に親しみましょう。

〈 理科 〉

- ①教科書・理科ノートを見ながら復習をしましょう。
- ②植物や生き物の観察をしましょう。

〈 読書 〉

- ①色々な本を読んでみましょう。

4年生の家庭学習

好奇心が旺盛になり行動範囲が広がります。また直観的な思考から論理的な思考へと変わり始める時期です。子どもがやろうとすることへのアドバイスや応援が大切です。宿題は夕飯前にすませると安心です。

4年生で身につけたい力

- ①ローマ字の読み書きができる。
- ②202字の新出漢字の読み書きができる。
- ③指示語や接続語の意味が分かる。
- ④国語辞典や漢字辞典を使って言葉を調べられる。
- ④コンパスや分度器を正しく使うことができる。
- ⑤わり算の筆算，小数のたし算やひき算，小数×整数，小数÷整数ができる。
- ⑥地名が調べられ，47都道府県を覚えられる。

家庭学習時間のめやす

$$10 \text{ 分} \times \text{学年} + 10 \text{ 分} \\ = 50 \text{ 分}$$

こんなことをしてみましょう!

〈 国語 〉

- ①音読，漢字練習，ローマ字練習，視写をやってみよう。
- ②国語辞典や漢字辞典を使って，言葉の意味や漢字についてを調べよう。
- ③日のできごとや思ったことを日記として書いてみよう。
- ④詩・ことわざ・俳句などを暗唱してみよう。

〈 算数 〉

- ①計算練習をたっぷりやってみよう。
- ②文章問題をやってみよう。
- ③単位のかん算（時間・長さ・重さ・かさ）の問題をやってみよう。
- ④コンパス・三角定規・ものさしを使った問題をやってみよう。

〈 社会 〉

- ①山梨県のことを調べよう。
- ②47都道府県をおぼえよう。

〈 理科 〉

- ①教科書・理科ノートを見ながら復習をしよう。
- ②植物や生き物の観察をしよう。
- ③自由研究をしてみよう。

〈 読書 〉

- ①色々な本を読んで，本の内容を話してみよう。
- ②国語の授業で学習した作者が書いた他の本を読んでみよう。

5年生の家庭学習

家庭科の学習が始まり，社会や世界に向けた学習もします。得意な科目，好きな分野が見つかると勉強好きになるきっかけになります。宿題の後，興味・関心に応じて学んだことを深めたり，広げたりする自主学習に取り組ませましょう。

5年生で身につけたい力

- ① 193字の新出漢字の読み書きができる。
- ② 強弱，速さ，間のとり方を工夫して読むことができる。
- ③ 考えたことや伝えたいことを的確に話したり，書いたりすることができる。
- ④ 分小数のかけ算，わり算，異分母のたし算やひき算ができる。
- ⑤ 割合，百分率を使った問題を解くことができる。
- ⑥ 日本の国土の様子や自然について知ることができる。

家庭学習時間のめやす

$$10 \text{ 分} \times \text{学年} + 10 \text{ 分} \\ = 60 \text{ 分}$$

こんなことをしてみましょう！

〈 国語 〉

- ① 漢字練習，ローマ字練習，視写をやってみよう。
- ② 国語辞典・漢字辞典を使って，言葉の意味や熟語調べをし，その言葉を使って文章を作ってみよう。
- ③ 日記などで，自分の思いや考えを書いてみよう。
- ④ 新聞を読む習慣を身につけよう。

〈 算数 〉

- ① 教科書・ノートを見ながら学習したところの復習をしよう。
- ② 分小数のかけ算，わり算，異分母のたし算やひき算の計算練習をしよう。
- ③ 単位量あたりの大きさや百分率などの文章問題をやってみよう。
- ④ 図形（合同・作図・面積・体積）の問題をやってみよう。

〈 社会 〉

- ① 日本の地形や周囲の国々を覚えよう。
- ② 教科書や資料集を見ながら復習しよう。

〈 理科 〉

- ① 教科書・理科ノートを見ながら復習をしよう。
- ② 習ったことをさらにくわしく調べて，ノートにまとめよう。
- ③ 自由研究をやってみよう。

〈 読書 〉

- ① 読書のジャンルを広げよう（古典・伝記・科学・芸術など）。

6年生の家庭学習

小学校の学習のまとめをして、中学校へつなげる大切な学年です。「やればできる。」という気持ちを持たせ、学習習慣を定着させるようにしましょう。宿題の後、興味・関心に応じて自主学習に取り組むのもよいでしょう。

6年生で身につけたい力

- ① 193字の新出漢字の読み書きができる。
- ② 小学校で習得すべき1006字の漢字が読め、8割以上が書ける。
- ③ 考えたことや伝えたいことを的確に話したり、書いたりすることができる。
- ④ 分数×分数、分数÷分数ができる。
- ⑤ 速さや道のりの問題を解くことができる。
- ⑥ 歴史上の出来事や人物についておおよそわかる。

家庭学習時間のめやす

10分×学年+10分
=70分

こんなことをしてみましょう!

〈 国語 〉

- ① 漢字練習は、毎日少しずつでも進めよう。
- ② 国語辞典・漢字辞典を使って、言葉の意味や熟語調べをし、その言葉を使って文章を作ってみよう。
- ③ 筆者や作者の意図を考えながら読んでみよう。
- ④ 新聞を読んで記事の内容をまとめてみよう。

〈 算数 〉

- ① 教科書・ノートを見ながら学習したところの復習をしよう。
- ② プリントや宿題で間違った問題をもう一度解き、間違いを確かめよう。
- ③ 一度解いた問題を自分の言葉で説明できるようにしよう。

〈 社会 〉

- ① 教科書や資料集を見ながら復習をしよう。
- ② 歴史上の出来事や人物について調べてみよう。

〈 理科 〉

- ① 教科書・理科ノートを見ながら復習をしよう。
- ② 習ったことをさらにくわしく調べて、ノートにまとめよう。
- ③ 自由研究をしてみよう。

〈 読書 〉

- ① 読書のジャンルを広げよう。(古典・伝記・科学・芸術など)
- ② 同じ作者の本、同じテーマの本などで、読み比べをしてみよう。